甲南だより

No.186
平成26年５月21日
鹿児島県立甲南高等学校
鹿児島市上之園町23番地1
ＴＥＬ（099）254-0175
題字　池田光麿（本校教諭）

もっと「わっぜ甲南」にしよう!!

校長　海江田　修　誠

今年度の定期異動で本校校長を命ぜられ、高校卒業以来四十年ぶりに母校で仕事をすることになりました。これまで行政で高校再編等の仕事をしてきましたが、久しぶりの学校現場はとても新鮮です。

本県は長期にわたって少子化が進み、子どもの数はピーク時の四分の一になろうとしています。それだけに高校生に対する県民の期待は大きいものがありますが、その一方で高校生に対する評価は必ずしも好ましいものばかりではありません。期待と不安を持ちながらの赴任でしたが、始業式で私の話を聞く甲南生の姿を見て、この生徒なら大丈夫、すばらしい生徒たちだと安心しました。

今年度の甲鶴戦が四月十八日に開催されました。四十四回目を迎えた甲鶴戦は、ちょうど私が本校に入学した年に始まったものです。今年度は特に三連覇がかかっているということで、生徒・職員共に期待の大きいものがありました。結果は今年度も十勝七敗で大勝利！　みごと三連覇を達成し優勝カップが校長室に帰ってきました。私は三連覇はもちろんですが、開会式や閉会式、応援する生徒の様子を見てとても感動しました。さらに生徒会執行部、応援団、放送部、吹奏楽部、美術部、書道部の皆さんが縁の下で運営を支えてくれました。これだけのことができる組織力は甲南生ならではのものであり、これからも先輩から後輩へ受け継がれるものだと思います。

二甲記念館の前に植樹された小木を紹介した小さなプレートの裏に「わっぜ甲南！いっど甲南！一生甲南！」と書いてあるのを見つけました。甲南の「わっぜ」ところは甲鶴戦だけではありません。先生方の話を顔をあげて聞いている。きちんとあいさつができる。全員で清掃に取り組む。この三点は今時の高校生と比べて、甲南生の「わっぜ」ところです。しかし、まだまだもの足りなさを感じます。できることがまだたくさんあることに自分で気づいてほしい。もっと「わっぜ甲南生」になるために、今の甲南生の課題と感じることを三つ書いてみます。

一つ目は、日常生活での在り方から将来のことまで理想を高く持ってほしいということです。毎日をただ何となく過ごすのではなく、少しでも前向きに生きたいと思います。できないとなればすぐにあきらめて目標を下げてしまうところはないでしょうか。世界や日本を舞台に活躍する自分をイメージしてください。

二つ目の課題は、目標を語るだけの実力が付いているか、実力を付けるための積み重ねをしているかということです。生徒の皆さんには、そのためには「戦略(strategy)」が必要だという話をしました。大学合格を勝ちとるには、学習の絶対量が必要です。部活動と勉強時間をどう両立させるのか、毎日何をどれだけ勉強するのか、具体的な戦略とそれを当たり前にやり遂げる実行力が必要です。

最後の課題は、高校生には様々な誘惑があるということです。スマホを触っていないといられない依存症になっていませんか。匿名や顔を合わさないことを隠れ蓑に他人を傷つけてはいませんか。世の中にはあなたをだまそうとする悪意が満ちあふれていることも知るべきです。もっとやるべきことがあるはずです。勇気を持って誘惑を断ち切ってください。

「少年老い易く学成り難し　一寸の光陰軽んずべからず」という言葉があります。今は春でも秋はすぐやってきます。悔いの無い一年にしたいものです。

平成26年度入学式

あらたなる伝統の担い手
第68期生320人，ここ甲南に挙り立つ

４月８日（火），第65回入学式が体育館アリーナで厳かに挙行された。

新入生は，吹奏楽部の奏でる『威風堂々』の中，多くの方々の温かい拍手に迎えられ，堂々と入場した。

入学許可では，海江田修誠校長が壇上で見守る中，１組の生徒から順番に各担任が呼名した。その呼名に対して新入生は，気概を感じさせる返事をし，入学が許可された。そして，新入生代表の平田颯彦君が，力強く宣誓をした。

校長は式辞の中で，アメリカの公民権運動の指導者であったキング牧師の“I have a dream.”を取り上げられ，将来をイメージしながら今すべきことを積み上げていく大切さを述べられた。

水川順一郎ＰＴＡ会長は祝辞の中で，「甲南生の財産」とは，周囲の人との絆であり，それを忘れず青春のエネルギーを学業・部活動に思いっきりぶつけるように述べられた。

生徒会長の佐藤梨央さんは，新入生に対し「常に高い目標を掲げる」など三つのアドバイスを紹介し，一緒に甲南高校の伝統というキャンバスに色をつけていこうと歓迎の言葉を述べた。

新入生退場後のＨＲでは，新入生の緊張もやや解け，時には笑い声も聞こえる和やかな雰囲気で入学式の１日は終了した。

伝統を創る
二十六年度転入の先生方

①前任校 ②趣味・特技
③甲南生に一言

校長 海江田修誠

①県教育庁高校教育課（参事兼課長）
②毎日一万歩を目指して歩いています。ネット上の地図で、この四年間で約八千キロ歩き、あと千キロで日本一周です。
③祝！甲鶴戦三連覇！皆さんはもっとできる人たちです。一人一人がもっと「わっぜ甲南生」を目指して頑張れ！

教頭 黒木 哲二

①徳之島高校
②剣道（三段）
③三十三年ぶりに帰ってきました。東・西の校舎内にいると別の学校にいるような感じがしますが、外側から見る屋上のドームと蔦の絡まる北側校舎は変わらない姿を見せてくれています。生徒の皆さん、この学舎であらゆることにチャレンジし自分を磨いてください。

国語 穂滿 達也

①薩摩中央高校
②機械整備、楽器
③甲南高校は、県内屈指の進学校です。私を含め、周囲が甲南生に対して抱く信頼は非常に厚いです。社会とのつながりの中で、信頼に応えられる自分になれることを目指し、日々自分を磨いてください。そうなれる力を持っているのが、皆さんなのだと思います。

国語 稲本 麻里

①奄美高校
②読書
③四月一日、引っ越しの際にラグビー部の皆さんに手伝ってもらいました。元気のよい挨拶と優しい人柄がとても好印象で、甲南生への期待が一気に高まった一日でした。皆さんとともに、日々、向上心を持って臨みたいと思っています。国語を一緒に楽しみましょう。

国語 伊藤 伽奈

①甲南高校が初任校です。
②映画鑑賞・泳ぐのが好き
③母校の校門を感慨深く通ったのが数週間前。慌ただしく過ぎる日々の中で、「甲南生」だった自分を思い出しました。甲南生としての日々は「楽あれば苦あり」ではなく「苦あればまた苦」な日々かもしれません。しかし、必ず「楽」は来ます。今この瞬間を必死に過ごしてください☆

地歴公民 山下 尚宏

①出水高校
②Rストーンズが大好きです
③数年ぶりに鹿児島市内での勤務となります。しかしながら、この春までほとんど熊本県人でしたので、県都での勤務に戸惑っています。大人でさえこのありさまです。生徒のみなさん、今がどのような時期なのかをしっかりと認識して、さらに精進しましょう。

地歴公民 新吉勇治朗

①種子島中央高校
②強いてあげればゴルフ
③私たちはいろいろな看板を背負って生きています。生徒の皆さんは、○○家の一員、○○中学校出身、そして伝統ある甲南高校の看板を背負っています。良くない行動は、本人だけでなく、看板にまで傷をつけます。自分の弱い心が表に出そうになることもあるでしょうが、誰かに悲しい思いをさせないようにしてほしいです。

数学 牧 哲也

①徳之島高校
②ランニング
③伝統と歴史のある甲南高校に赴任でき、大変うれしく思います。数学は粘り強く試行錯誤することが必要とされる学問です。私自身も甲南高校での様々な活動において粘り強く試行錯誤し、皆さんと共に成長したいと考えています。よろしくお願いします。

美術工芸 上原 直哉

①高山高校
②切手集め
③甲南生へ一言　芸術は決して一部の人間のものではありません。古来より数学と芸術は密接に結びついていますし、漢字やアルファベットには文字という範疇に収まらないデザインされた美しさがあります。忙しい中にも、それぞれの美を見い出してください。

英語 勇 やよい

①伊集院高校（新採）
②ドライブ・ダンス
③甲南を卒業してから、制服を見かけるたび後輩だ！と目で追いかけていました。一人一人が背負う甲南という看板は重いかもしれませんが自分を磨く環境がこれほど整ったところは他にありません。無駄な時間を削って磨かれた毎日を。応援しています。

英語 八木健二郎

①なし
②花を育てることと剣道
③柔らかな頭脳・しなやかな心で甲南生らしさを保ち、将来大きく羽ばたく基礎をここでがっちりと固めてください。皆さんの大成を祈ります。

事務室 佐藤 裕之

①与論高校
②釣り
③皆さんと直接関われる機会は少ないかもしれませんが、できるだけ皆さんに話しかけることができればと思っています。皆さんの日々の努力に負けないように日々努力してゆきます。よろしくお願いします。

事務室 古市 由佳

①県教育庁教職員課
②空手
③皆さんと一緒に精一杯頑張り、一人一人との「一期一会」を大切にして楽しんでいきたいと思います。よろしくお願いします。

紅紫繚乱 ～二つの思いが躍動する瞬間～

『優勝は甲南高校です。』その瞬間、甲南生は一つになり、歓喜の声を上げた。ついに、甲南高校は三連覇を成し遂げたのだ。

朝方まで小雨が降り、天候が心配される中、第四十四回甲鶴戦が行われた。あいにくの空模様ではあったが、生徒たちの甲鶴戦への思いは熱く燃え、エール交換では両校とも必勝を願い、大声を競技場に響き渡らせていた。

開会式直後に行われた陸上競技が勝利を収めたのを皮切りに、それぞれの種目で甲南高校は鶴丸高校と熱戦を繰り広げ、一つ一つ勝利を重ねていった。男女バスケットボールは、両チームが白熱した戦いを繰り広げ、大接戦の中、甲南高校が粘り強さをみせつけ、勝利をもぎ取った。昨年は、惜しくも勝利を逃したハンドボールは、20対14というハンドボールとしては、大差をつけて勝利を収めた。それ以外の会場でも素晴らしい熱戦を繰り広げ、勝利を重ねていった。

最後に行われた全校応援種目の野球では、甲南生全員の心が一つになった瞬間を、生徒一人一人が感じることができたのではないだろうか。

甲鶴戦開催の前に行われた全校応援練習では、応援団を中心に、限られた時間の中でテキパキと進めることができた。その成果が本番当日に、二、三年生は言うまでもないが、一年生も先輩方に負けないくらいに声を枯らして応援する姿が見られた。甲南民族の一員であるということをより一層自覚することが出来たのではないだろうか。

昨年、一昨年の勝利に続いて、三連覇という戦績を残すことができたが、この背景には多くの先輩方の汗と涙がある。私たちはその思いを背負い、今回の甲鶴戦に挑んだ。それは、決して一人では成し遂げられない。甲南高校生、そして甲南高校に関わる全ての人が団結した努力の賜であると言って良いだろう。部活動生や応援団、KBC、生徒会、先生方、そして甲南生全員の思いが一つになったとき、甲鶴戦は成り立つ。

私たちは今、新たな目標を掲げている。それは四連覇だ。甲南高校の勢いは止まることなく来年の勝利へ向かっている。また再びこの感動を甲南生全員で味わえるよう、日々精進していこうと思う。

種目	得点 甲南	得点 鶴丸
陸上競技	63	39
ラグビー	0	66
サッカー	0	5
ハンドボール	20	14
男子バスケット	63	58
女子バスケット	58	43
男子バレー	24	26
女子バレー	58	41
卓球	4	5
バドミントン	10	5
水泳	215	193
テニス	1	4
ソフトテニス	9	3
剣道	5	1
弓道	89	95
空手道	4	4
野球	2	8
総合	10種目	7種目

卒業生の大学合格状況について

旧課程生最後の入試！理系生が受験する科目を中心に平均点上昇するも文系生には厳しいセンター試験であった。

今年の大学入試センター試験は1月18・19日の2日間にわたり、全国693の試験場で実施された。18歳人口の減少に伴い志願者数が前年度より一万二千六百七十二人減り五十六万六百七十二人であったにも関わらず、センター試験の受験率（受験者数／志願者数）は過去10年間で最高の94・9％であった。全国的に比較的天候に恵まれたほか、国公立大学志望者だけでなく、私立大学志望者にもセンター試験利用が広がっていることが要因と考えられる。

教科別に分析すると、昨年から更に平均点がダウンしてセンター試験開始以来初めて100点を下回った国語を筆頭に、「生物Ⅰ」「地学Ⅰ」は過去最低であり、特に「化学Ⅰ」は昨年よりも19点ダウンでこれも過去最低であった。見出しにもあるように文系の受験生には非常に厳しいセンター試験であったといえる。

全国的には昨年度より厳しい状況ではあったが、本校卒業生は今年度も大健闘を見せた。国公立大学合格者は253名（うち現役合格者は195名）をかぞえ、特に難関大である京都大学4名（現浪各2名ずつ）・大阪大学6名（現役4名）・九州大学36名（現役23名）・国立大医学部医学科に4名で、特に九州大学の現役合格者数は全国でも10番内へと返り咲いた。

今年度の学年が理科と数学において新課程が先行実施された学年なので、当然センター試験もその点を踏まえての出題となる。本校の教育カリキュラムも当然センター試験や大学の二次試験に充分対応したものにはなってはいるが、文系理科の受験方法が1科目60分100点から4つの基礎科目の中から2科目選択で30分50点×2と大きく変わるなど、これまで以上に「出願時の受験教科・科目数の登録」や第1解答科目の指定がある場合についての理解はきちんとしておかなければならない。

平成26年大学入試合格状況

国公立大学	新卒	旧卒	計
北海道大学			
東北大学			
東京大学			
東京外国語大学	1		1
お茶の水女子大学	1	1	2
一橋大学			
東京工業大学			
東京学芸大学	2	1	3
横浜国立大学	3	1	4
京都大学	2	2	4
大阪大学	4	2	6
神戸大学	3	1	4
広島大学	10	1	11
九州大学	23	13	36
九州工業大学	3		3
熊本大学	17	3	20
鹿児島大学	68	19	87
その他	58	14	72
小計	195	58	253

私立大学	新卒	旧卒	計
青山学院大学	1	2	3
慶應義塾大学	1	1	2
東京女子大学	1		1
中央大学	5	1	6
東京理科大学		3	3
法政大学	1	3	4
明治大学	1	9	10
立教大学		1	1
早稲田大学	1	1	2
近畿大学	1	5	6
関西学院大学	2	1	3
同志社大学	1	6	7
立命館大学	8	30	38
西南学院大学	10	1	11
福岡大学	22	9	31
その他	61	41	102
小計	116	114	230

「壁を外して」

PTA会長 小林 祐二

春から初夏へ変わりゆく爽やかな季節。学業に忙しい生徒の皆さんも、木々の緑や初夏の香りを全身で感じながら、毎日爽やかな気持ちで登校してもらえればと思っています。

さて、希望に満ちた新年度をスタートしたことと思いますが、早速いろいろな壁が立ちはだかり、悩んでいたりしませんか？周りの人には大した事ではなくとも、本人にとっては大変ですね。壁は必ず乗越えられるとわかっていても・・。それなら壁を外しましょう。乗り越える力はもちろん大事ですが、本人にとって大変な壁や限界を作っているのは結局自分なのです。自然を感じる豊かな心と壁を作らず果敢にチャレンジする強い心を甲南高校の皆さんには持ってほしいと思います。

私も初めてのPTA会長の責に正直不安もありますが、私の心の「壁を外して」この甲南高校に通う子供たちを精一杯支えて参りたいと思っております。至らぬ点もあるかもしれませんが、保護者の皆様、先生方には引き続きご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

明日の自分のために

PTA副会長 竹之内 日出晴

皆様こんにちは。この度PTA副会長に就任いたしました竹之内です。

先日は入学後まもなく、第四十四回甲鶴戦が開催され新入生も初めての学校行事に参加し、更に勝利を目の当たりに出来、甲南生に仲間入りした喜びをかみしめたことでしょう。

これからは、それぞれの目標に向かっての日々の努力が始まります。体育祭や文化祭、薩摩半島縦走などの大きな行事を楽しくこなしながら、嫌いな事にも挑戦する勇気を持ち、人との関わりも大切にしていってほしいと思います。毎日の何気ない積み重ねが子供達を少しずつ成長させ、大切な何かを身に付けるのだと信じたいです。

先生方や保護者の皆様方のご協力により、子供達がより心地よい環境の中で、心おきなく、勉強をしたり運動で友情を深めたり、各々が極めたいと思うことに取り組めるように、協力をしていきたいと思っております。

子供たちの夢を、実現させるため、一緒に頑張ってまいりましょう。

「今」を生きる

PTA副会長 脇田 博子

皆さんには、どんな未来が待っているのでしょうか？そう考えるだけでワクワクしてきます。長い人生の中で高校生活という限られた時間は、皆さんにとって一生の宝となる師や友との出会い、そして心を大きく成長させる時間の連続なのではないでしょうか。前向きに頑張れる毎日ばかりではないでしょう。時には立ち止まり、後ろを向いてしまうこともあるでしょう。それでも前に進まなくてはいけない時に、きっと皆さんの後ろで支えてくれる人がいるはずです。支えてもらったら、支えてあげる・・そんな絆を大切にしてほしいと思います。

「見届ける」という言葉には「見て」そして想いを「届ける」という意味があります。保護者の皆様におかれましては、子どもたちを近くで「見届ける」ことのできる最後の時間がこの高校生活になるのではないかと思います。PTA活動を通して、先生方と保護者が一緒に子どもたちを見届けていけるよう、本年度もどうぞ御理解、御協力のほど宜しくお願いいたします。

平成二十六年度PTA役員

会長	小林 祐二
副会長	竹之内日出晴
副会長	脇田 博子
監事	武田 清孝
監事	森山 眞里
1学年理事委員長	内海 雅代
〃 委員	児玉由加利
〃 委員	柳元祐里子
2学年理事委員長	田中 芳
〃 委員	前原登喜子
〃 委員	森山 律子
3学年理事委員長	川野 容子
〃 委員	石原田由紀子
〃 委員	林 ひとみ

転・退職の先生方

転出

・阿多 理先生（教頭）県総合教育センター教科教育研修課長
・國生 和彦先生（国語）開陽高校（通信制）
・渡邊 恵先生（国語）鹿屋農業高校
・山口 良平先生（地公）加治木高校
・海江田智充先生（地公）曽於高校
・川畑 和美先生（芸術）末吉高校
・前田 弘美先生（英語）加治木高校
・山角 好美先生（事務）加治木工業高校

退職

・瀬戸上 護先生（校長）
・森 裕子先生（国語）
・野崎 秀人先生（事務）

今年の主な行事予定

4月7日(月) 始業式
4月8日(火) 第65回入学式
4月15日(火) 二高女創立記念日
4月18日(金) 第44回甲鶴戦
5月7日(水) PTA総会
5月13日(火) 二中創立記念日
5月23日(金) 創立記念講演会 平成26年第一回甲南塾
5月25日(日) 創立記念日
6月10日(火)～13日(金) 二学年修学旅行
6月27日(金)～7月1日(火) 一学期末考査
7月2日(水)～3日(木) クラスマッチ
7月18日(金) 終業式
8月25日(月) 始業式
8月25日(月)～26日(火) 実力・課題考査
9月6日(土) 第66回体育祭

9月20日(土) 第54回文化祭
9月30日(火)～10月2日(木) 二学期中間考査
10月1日(水) 一学年PTA
10月2日(木) 二学年PTA芸術鑑賞会
10月3日(金) 第33回薩摩半島縦走
10月17日(金) 平成26年第三回甲南塾
11月4日(火)～7日(金) 11月実力考査
11月6日(木) 11月3日(水)
11月28日(金)～12月3日(水) 二学期末考査
12月24日(水) 終業式
1月8日(木) 始業式
1月27日(火)～28日(水) 一月実力考査
1月28日(水) 平成27年第一回甲南塾
2月20日(金)～25日(水) 学年末考査
3月2日(月) 第66回卒業式
3月3日(火) クラスマッチ
3月25日(水) 修了式